安心安全通信 23

多摩川堤防決壊 50年特集号

『安心して暮らせる安全なまち』を目指して　令和６年８月発行

発行：狛江市　編集：総務部安心安全課
〒201-8585　狛江市和泉本町一丁目1番5号
TEL：03-3430-1190（直通）

CONTENTS

01 多摩川堤防決壊から50年 狛江市総合水防訓練を実施しました
02 ハザードマップを確認しましょう ペットの防災について
03 東京とどまるマンション普及促進事業 土のうステーション、止水板設置工事費等補助制度
04 狛江市消防団新幹部紹介 救急車の適正利用

多摩川堤防決壊から50年

～改めて水害への備えを考えよう～

多摩川堤防決壊から50年をきっかけに、
日頃の対策や備えについて改めて考えてみませんか？

　昭和49年、大型の台風16号の影響により記録的な豪雨が発生し、多摩川が増水しました。この増水により、９月１日昼頃、宿河原堰の護岸と小堤防が破壊され、高水敷（河川敷）の浸食が始まりました。
　被害の拡大を防止するため、市は災害対策本部を設置するとともに、現場では狛江市消防団、東京消防庁、警視庁、陸上自衛隊、建設省（現在の国土交通省）などの関係機関による水防作業が開始されました。
　しかし、高水敷の浸食は速く、９月１日の夜には堤防が決壊し、隣接する家屋が濁流にのまれ始めてしまいました。
　この家屋の流出を受けて、現地では濁流の方向を変えるため、堰堤を破壊する検討・協議を重ね、９月２日午後２時37分に堰堤を爆破しました。
　その後も懸命な水防活動は続き、９月６日正午、避難指示の解除をもって活動は終了し、流出家屋19棟という歴史に残る水害となりました。

※当時の白黒写真をAI加工によりカラー化しています。

令和６年度

狛江市総合水防訓練を実施しました

　６月16日、多摩川堤防決壊から50年という節目を迎えるにあたり、多摩川緑地公園グランドで大規模な「劇場型水防訓練」を実施しました。積土のう工法やヘリコプターによる人命救助など、関係機関の連携を確認し、災害対応力の強化を図りました。
　また、防災意識の啓発を目的に、関係機関による市民参加型の防災体験・展示エリアを併設し、当日は多くの方々に足を運んでいただきました。

ドローン撮影の訓練動画を公開中！

狛江市 LINE アカウント

狛江市LINEアカウントから、狛江市の市政情報やイベント情報などを発信しています。災害時には緊急・災害情報を発信しますので、友だち登録をお願いします。